2024 年 3 月 7 日

新文芸坐での上映中止について

この度、3/8（金）に新文芸坐で予定していた『ラジオ下神白―あのとき あのまちの音楽から いまここへ』の上映を取り止めることにしました。

2/19（月）に「新文芸坐元スタッフ」さんからパワハラが起きた劇場で上映することに対して X (旧 Twitter) で疑問を投げかけられたことを受け、劇場側に状況を確認し、事務局内や関係者と話し合いを重ねてきました。直前のご連絡・ご説明となってしまい、申し訳ありません。

まず、わたしたちは現在も苦しまれている方がいることに心を痛めています。ハラスメントの是非は「受け手」によるところが大きいため、第三者機関による相談や調査が必要とされています。だからこそ、調査をしたとする劇場運営会社の他部署を第三者機関と見なしてよいものか、両者がどのような認識を持ち、どのようなやりとりが交わされてきたのか、これまでの劇場側との話し合いでは、わたしたちが納得できる状況には至りませんでした。

自分たちが何に加担してしまうことになるのかについて悩み、まずは劇場側の認識を公にしてもらうことがスタートラインだと考え、そのことを求めましたが、要求が叶わなかったため今回は上映中止の判断に至りました。

わたしたちはあらゆる暴力や差別・ハラスメントに反対します。そして、問題が起きてしまったあと、両者が安全に話し合い、状況を改善するために説明がなされ、問題を社会全体でともに考えていける環境がつくられていくことを願っています。

ラジオ下神白上映会事務局
アサダワタル、小森はるか、川村庸子、岡野恵未子